



F U M A I

DAIMYO, TEA MASTER, AESTHETE

天下の名宝、集う。

記念講演会

- 1 「名物道具蒐集と不味の美意識」
講師 赤沼多佳 三井記念美術館 参事
日時 9月22日(土) 14時~15時30分開場 約90分
 - 2 「不味のお好み道具
羊遊斎と漆壺斎を中心に」
講師 小林祐子 三井記念美術館 主任学芸員
日時 10月14日(日) 14時~15時30分開場 約90分
 - 3 「松平不味 数奇道を究める」
講師 藤間 寛 島根県立美術館学芸専門官
日時 10月28日(日) 14時~15時30分開場 約90分
- いずれも
場所 美術館ホール(190席) 当日先着順
聴講無料

記念茶会

- 不味公2000年祭記念茶会
「不味流大円会」
日時 9月21日(金) 10時~15時
- おもてなし茶席
「島根県立大学松江キャンパス茶道部」
日時 9月22日(土) 10時~15時
- おもてなし茶席
「NPO法人 水の都プロジェクト」
日時 9月23日(日) 10時~15時
- 不味公2000年祭記念茶会
「表千家同門会」
日時 9月24日(月・祝) 10時~15時
- 高校生おもてなし茶席
「松江北高校茶道部」
日時 10月13日(土)、14日(日) 10時~15時
- いずれも
場所 美術館ロビー
料金 500円
主催 不味公2000年祭記念事業推進委員会
※和菓子が無くなり次第終了

関連展示

- 「生誕150年 桑原羊次郎展」
会期 9月27日(木)~11月12日(月)
会場 島根県立美術館 展示室5
- 松江出身の桑原羊次郎(一八六八~一九五五)は、肉筆浮世絵の蒐集家、刀装具研究の第一人者として知られ、郷土島根の美術工芸―特に「松平不味」の研究で重要な足跡を残しました。羊次郎の生誕150年にあたり、その幅広い業績を振り返る小企画展です。
- 要コレクション展観覧料

美術館キネマ

- 「利休」
(1989年/133分)
DVD上映
監督 勲使河原宏
出演 三國連太郎、三田佳子、松本幸四郎ほか
日時 10月21日(日) 10時30分
場所 美術館ホール(190席) 当日先着順
鑑賞無料 30分前開場



©1989 松竹株式会社

ロビーコンサート

- 出演 松江邦楽アンサンブル
日時 9月29日(土) 13時、15時30分(各回約30分)
場所 美術館ロビー
鑑賞無料



観覧料

- 一般(前売券) 企画・コレクション展セット 900円
一般(当日券) 企画展 1000円(800円)
大学生(当日券) 企画展 600円(450円)
企画・コレクション展セット 1150円(920円)
企画・コレクション展セット 700円(530円)
小中高生(当日券) 企画・コレクション展セット 300円(250円)
- ※(内)は20名以上の団体料金 ※小・中・高生の学校教育活動での観覧は無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付添の方は観覧無料 ※9月21日は満65歳以上の方は観覧無料

特典付き前売券

- 前売券ご購入の方に
特製「不味公お好みぼち袋」をプレゼント
引換期間 9月21日(金)~11月4日(日)
引換方法 美術館各受付で前売券をご提示ください。
※前売券は、ローソン各店(コード62132)、セブンイレブン、チケットぴあ窓口(コード69114)、各プレイガイドにてお求めになれます
発売期間 8月1日(水)~11月4日(日)
※特典はなくなり次第終了となります。

キッズライブラリー

このたび「キッズライブラリー」を新設しました。お子さまと一緒にゆつくりと時間をとお過ごしください。



毎週木曜日の午前中は「かぞくの時間」を実施しています。詳細はHPへ

次回展覧会予告 第51回島根県総合美術展(県展) | 11月17日(土)~11月25日(日)
第65回日本伝統工芸展 | 12月5日(水)~12月25日(火)

- 交通案内
- JR松江駅から徒歩約15分
 - JR松江駅から松江市営バス(南館環線内回り)6分→「県立美術館前」下車
 - 観光ループバス(レイクライン)→「県立美術館前」下車
 - 山陰道→松江西ランプから車で約5分
- 駐車場 国道9号袖師交差点南進(駐車場から地下道をご利用下さい) ※3時まで無料



〒690-0049 松江市袖師町1-5 TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
http://www.shimane-art-museum.jp



没後200年 大名茶人 松平不味 2018.9/21金—11/4日

休館日:火曜日 開館時間:[9月]10時~日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)、[10・11月]10時~18時30分(展示室への入場は18時まで)

主催:島根県立美術館、松江市、NHK松江放送局、NHKプラネット中国、山陰中央新報社、TSK山陰中央テレビ、SPSしまね 後援:朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、BSS山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン 協賛:NISSHA株式会社 制作協力:NHKプロモーション 国宝(大井戸茶碗 喜左衛門井戸)朝鮮時代・16世紀 京都・孤蓬庵藏【大名物】、(松平不味画像)部分)江戸時代・19世紀 島根・月照寺藏、国宝(砥波蓋 梅花天目)(部分)南宋時代・12-13世紀 京都・相国寺藏【大名物】



大名茶人はいかにして生まれたか
その成道の足跡に迫る

茶の湯を極める —大名茶人の誕生—

松平不味は、利休の茶の湯への回帰を唱え、
茶禪一味を極めます。
また茶道具への卓越した審美眼は、
今なお高い評価を得ています。



《書「喝」》
松平不味筆
江戸時代・19世紀



《松平不味画像》
江戸時代・19世紀
島根・月照寺蔵



《御茶器帳(雲州蔵帳)》
江戸時代・19世紀
島根・月照寺蔵



《田相の偈》
松平不味筆
文化14年(1812)
東京・天眞寺蔵
展示期間:
9月21日～10月15日

ON THE 200TH ANNIVERSARY OF HIS DEATH MATSUDAIRA FUMAI DAIMYO, TEA MASTER, AESTHETE

本年は、大名茶人として名高い
松江藩主松平不味(一七五二—一八一八)が没して二百年になります。
不味は松江藩主として治世にあたるとともに、
文化的な活動を介して広い人脈をもち、
とりわけ茶の湯には造詣が深く、江戸時代後期を代表する
大名茶人として大きな足跡を残しています。
ことに不味の蒐集した美術品や茶道具には、早くから
名物、名器と評されてきたものが多く、その中には今日、
国宝や重要文化財に指定されているものも多く見られます。
本展では不味が愛蔵した名品の数々と、
さらに不味像がうかがわれる自筆の書画や
好んで作らせた茶道具などをご紹介します。



右
《桐蒔絵茶桶》
初代小島漆堂作
江戸時代・19世紀



左
《竹中次》
初代小島漆堂作
江戸時代・19世紀



《瓢箪蒔絵弁当箱》
原羊遊齋作/酒井抱一 下絵
江戸時代・19世紀



《かまきり蒔絵香合》
原羊遊齋作
狩野伊川院栄信下絵
江戸時代・19世紀



《柳燕図》
狩野伊川院栄信筆/松平不味賛
江戸時代・19世紀
京都・野村美術館蔵
展示期間:10月17日～11月4日

楽山、布志名、羊遊齋、漆壺齋、
如泥、養川院、抱一…
当代名工とのコラボレーション

プロデューサー としての不味

—洗練を極めたお好み道具—

不味は名品を集めるだけでなく、当世の職人に学習させ、
自身の美意識を反映した新たな茶道具を作らせました。

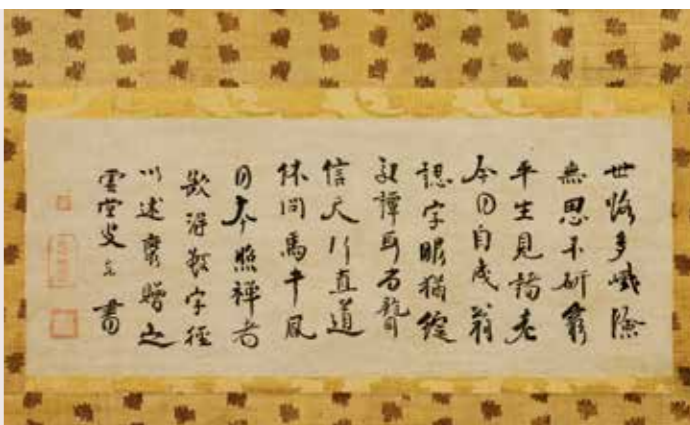


「雲州蔵帳」 の名品

—茶道研究の成果—

若い頃より茶の湯を研鑽し、
茶道界に大きな足跡を残した松平不味。
強い信念のもとに
自ら蒐集した名物道具をご紹介します。

松平不味の集めた名品の数々
宝物5件、大名物7件、中興名物10件など
総数45件が一堂に集う



国宝
《与照禪者偈頌》
虚堂智愚筆
南宋時代・13世紀
東京国立博物館蔵
展示期間:9月21日～10月15日
〔宝物〕

右
《青磁中蕪花入
銘夕端山》
明時代・15世紀
東京・根津美術館蔵
〔中興名物〕



重要文化財
《赤染茶碗 銘無二物》
長次郎作
桃山時代・16世紀
兵庫・瀬川美術館蔵
展示期間:
9月21日～10月15日
〔中興名物〕



重要文化財
《油滴天目》
南宋時代・12世紀
九州国立博物館蔵
〔大名物〕



《園城寺釜》
室町時代・15、16世紀
東京国立博物館蔵
〔大名物〕



国宝
《片輪車螺鈿手箱》
鎌倉時代・13世紀
東京国立博物館蔵
展示期間:
10月17日～11月4日



《竹茶杓 銘夕かほ》
千利休作
桃山時代・16世紀

会期中、一部展示替えがあります。